

「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」について  
大阪大規模都市水害対策検討会で検討を開始します。

- 水害リスクの高いゼロメートル地帯に人口や社会経済の中核機能が集積し、さらに広域に発達し高度利用が進む地下空間を有する梅田地区をはじめとする大阪を対象とし、スーパー台風の来襲等の大規模水害による最悪の事態を想定し、以下の検討を行うため、3月30日(月)に「大阪大規模都市水害対策検討会」を発足し、検討を開始しました。

(主な検討テーマ)

- ・「状況情報」の提供による主体的避難の促進
- ・国、地方公共団体、公益事業者、企業等が主体的かつ連携して対応する体制の整備 等

- 検討方針

比較的発生頻度の高い洪水・高潮に対しては、施設によって防御することを基本として整備を進めつつ、それを超える洪水・高潮に対しても、少なくとも命を守り、社会経済に対して壊滅的な被害が発生しないことを目標とする。

- 大阪大規模都市水害対策検討会

構成メンバー：近畿運輸局、大阪管区气象台、大阪府、大阪市、  
大阪ガス株式会社、関西電力株式会社、  
大阪市地下空間浸水対策協議会、近畿地方整備局

問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 企画部 防災課長 河南 良男

TEL：06-6942-1575 (直)

国土交通省 近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター長 中村 文彦

TEL：06-6944-8853 (直)